鉄で未来を 未来の鉄を

2023年3月期第2四半期
決算説明資料

2022年11月

大和工業株式会社
東証プライム（証券コード：5444）

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

略語、会計年度、換算レート

● **略語の説明**

タイ	**SYS**	Siam Yamato Steel Co., Ltd.
アメリカ	**NYS**	Nucor-Yamato Steel Company
アメリカ	**ASA**	Arkansas Steel Associates, LLC
ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**SULB**	Sulb Company BSC(c)
ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ	**Saudi Sulb**	United Sulb Company (Saudi Sulb) LLC
ベトナム	**PY VINA**	POSCO YAMATO VINA STEEL JOINT STOCK COMPANY
韓国	**YKS**	YK Steel Corporation
アメリカ	**YKA**	Yamato Kogyo America, Inc.
アメリカ	**YHC**	Yamato Holding Corporation
アメリカ	**YK(USA)**	Yamato Kogyo (U.S.A.) Corporation
ﾊﾞｰﾚｰﾝ	**Bahrain Venture**	United Steel Company(”Sulb”)　Bahrain Venture Co.W.L.L.
韓国	**YKH**	Yamato Korea Holdings Co., Ltd.

● **会計年度**

	会計年度（FY）	2022年度（FY2022）	1Q	2Q	3Q	4Q
当社・国内子会社・関連会社	4月～翌3月	2022年4月～2023年3月（2023/3期）	2022年4～6月	2022年7～9月	2022年10～12月	2023年1～3月
海外子会社・関連会社	1月～12月	2022年1月～12月（2022/12期）	2022年1～3月	2022年4～6月	2022年7～9月	2022年10～12月

● **換算レート**

		Yen/Dollar	Yen/Baht	Won/Yen
損益計算書	1-6月平均	124.54（108.47）	3.67（3.50）	9.90（10.30）
	通期予想	132.11	3.72	9.99
貸借対照表	2022年6月末 2022年9月末	136.69（115.02） 144.81	3.87（3.43） 3.87	9.46（10.31） 9.91
	2022年12月末予想 2023年3月末予想	140.00 135.00	3.76 3.76	10.30 10.30

（注）カッコ内は前年同期若しくは前期末

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

目次

決算ハイライト

Ⅰ 2023/3期 第2四半期決算の概要

Ⅱ 2023/3期 決算の見通し、配当修正

Ⅲ 事業の中長期展望と投資戦略(2022年5月公表)
今年度中間レビュー

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

決算ハイライト – 2023年3月期 第2四半期

事業動向KPI

グループ
総販売数量＊
315万トン
(前年同期比▲4.0%)

H形鋼
販売比率＊＊
67.0%
(前年同期比▲1.3pp)

財務動向KPI

経常増益率
143.2%
(前年同期比)

持分法損益
350.7億円
(前年同期比+114.6%)

自己資本
比率
85.2%
(前期末比+0.8pp)

経常利益率
54.2%
(前年同期比+23.0pp)

*グループ会社の販売数量の単純合計。半製品、DRI及びグループ間取引を含む
＊＊半製品、DRIを除く製品に占めるH形鋼の販売比率

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅰ 2023/3期 第2四半期 決算の概要

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023/3期　第2四半期 決算の概要（累計）

- **2Q累計実績は前期比で売上高は40%増収、営業利益は150%増益**
- **鉄鋼(日本)は大型案件中心に需要は底堅く推移。物件向け販売強化、価格押上げにより増収増益**
- **鉄鋼(タイ国)は輸出市場で販売数量を確保。高水準の鋼材マージン維持により増収増益**
- **経常利益は前期比143%増益の513億円。米国/NYSは堅調な非住宅建設需要に支えられ、鋼材マージンは拡大し、持分法投資損益増に大きく貢献。円安により為替差益55億円を計上**

億円)	2022/3期 2Q累計	2023/3月期 2Q累計		前年同期比		前回予想比	
		直近予想 (2022/8/1)	**実績**	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	676	940	**947**	270	40.0%	7	0.7%
鉄鋼事業（日本）	249	–	**362**	113	45.6%	–	–
鉄鋼事業（タイ国）	374	–	**540**	165	44.2%	–	–
軌道用品事業	36	–	**28**	▲8	▲22.5%	–	–
営業利益	37	90	**94**	56	150.8%	4	4.4%
鉄鋼事業（日本）	5	–	**32**	27	534.9%	–	–
鉄鋼事業（タイ国）	39	–	**74**	35	90.9%	–	–
軌道用品事業	3	–	**0**	▲3	▲88.0%	–	–
経常利益	211	480	**513**	302	143.2%	33	6.9%
持分法投資損益	163	–	**350**	187	114.6%	–	–
親会社株主帰属四半期純利益	148	355	**378**	230	155.2%	23	6.5%
営業利益率	5.6%	9.6%	**9.9%**	4.4pp	–	0.4pp	–
経常利益率	31.2%	51.1%	**54.2%**	23.0pp	–	3.1pp	–

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023/3期　第2四半期 決算の概要 (四半期)

- **2Qは対1Q比で売上高は横ばい。日本がスクラップ価格が下落に転じ、鋼材マージンが改善し、営業増益に貢献。米国が好調を持続し、中東が数量・価格ともに改善し、2Q業績を牽引。**
- **前年同期比では増収増益。前年にスクラップ価格先行高の影響を受けた日本は、販売価格の押上げにより鋼材マージンが改善し、タイは昨年2Qを境に、輸出市場の競争緩和により高収益を維持。米国の鋼材マージン拡大により持分法投資利益は大幅増。**

（億円）	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	**4Q**	1Q	2Q	3Q	**4Q**
売上高	328	349	400	423	469	**477**	–	–
鉄鋼事業（日本）	116	134	159	164	183	**179**	–	–
鉄鋼事業（タイ）	188	187	216	233	265	**274**	–	–
軌道用品事業	16	21	17	17	13	**14**	–	–
営業利益	16	21	47	47	42	**51**	–	–
鉄鋼事業（日本）	2	3	9	9	9	**22**	–	–
鉄鋼事業（タイ）	18	21	43	44	38	**35**	–	–
軌道用品事業	1	3	1	0	0	**0**	–	–
経常利益	83	128	185	180	231	**281**	–	–
持分法投資損益	63	101	124	115	151	**199**	–	–
親会社株主帰属四半期純利益	55	93	129	120	180	**198**	–	–
営業利益率	4.9%	6.1%	11.9%	11.2%	9.0%	**10.9%**	–	–
経常利益率	25.3%	36.7%	46.2%	42.6%	49.3%	**59.0%**	–	–

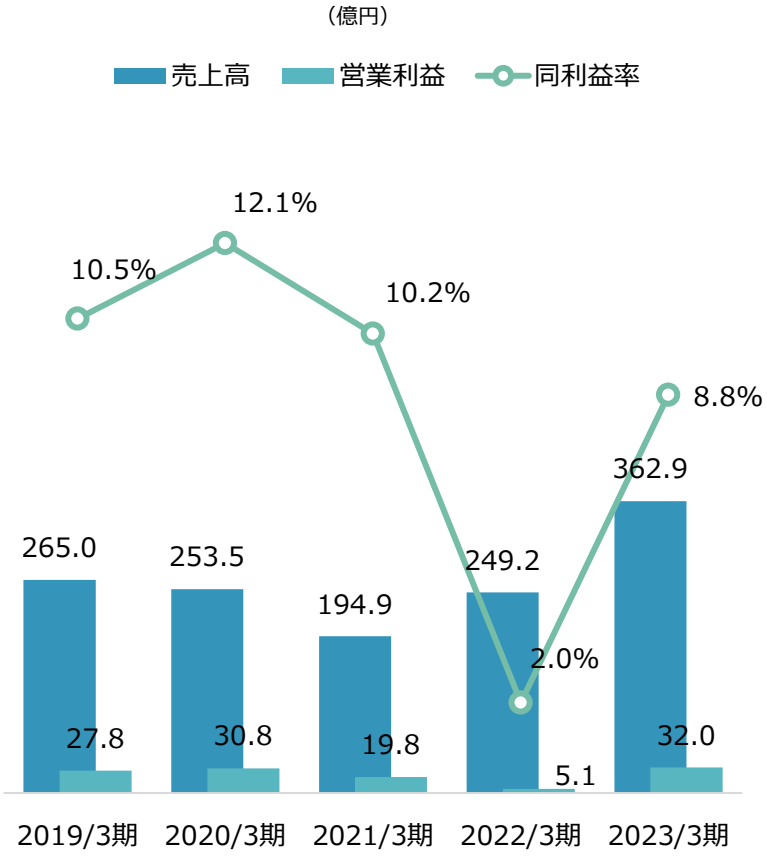
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　①鉄鋼事業（日本）

- **国内の形鋼需要は大型建築案件に支えられ、底堅く推移。物件向けH形鋼を中心に受注は堅調に推移し、販売数量は前年同期比で増加**
- **販売価格の押し上げにより、鋼材マージンは前年1Q以降、改善基調が継続**

業績推移－2Q(累計)



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ 都市再開発や物流施設、半導体工場などの大型案件の需要は底堅く推移。一方、中小案件は建設資材高騰の影響により低調
  - ✓ 5月以降値下がり基調であったスクラップ市況は8月に底を打ち、エネルギー価格は上昇基調が継続
- ヤマトスチールの動向
  - ✓ 高炉メーカーが鋼板類に注力するなか、新規顧客の開拓や物件向け販売強化に製販一体で取り組み、2Q累計販売数量は前年同期比10.5%増の29.4万トン
  - ✓ 資源・エネルギー価格高騰による影響を最小化すべく、技術力によるコスト低減に努める
  - ✓ 鋼材マージンは改善が進み、2Qは67.5千円/トン

万トン、千円/トン	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量	12.9	13.7	15.1	14.7	15.3	14.1	-	-
鋼材マージン	37.2	40.8	44.9	48.4	50.3	67.5	-	-

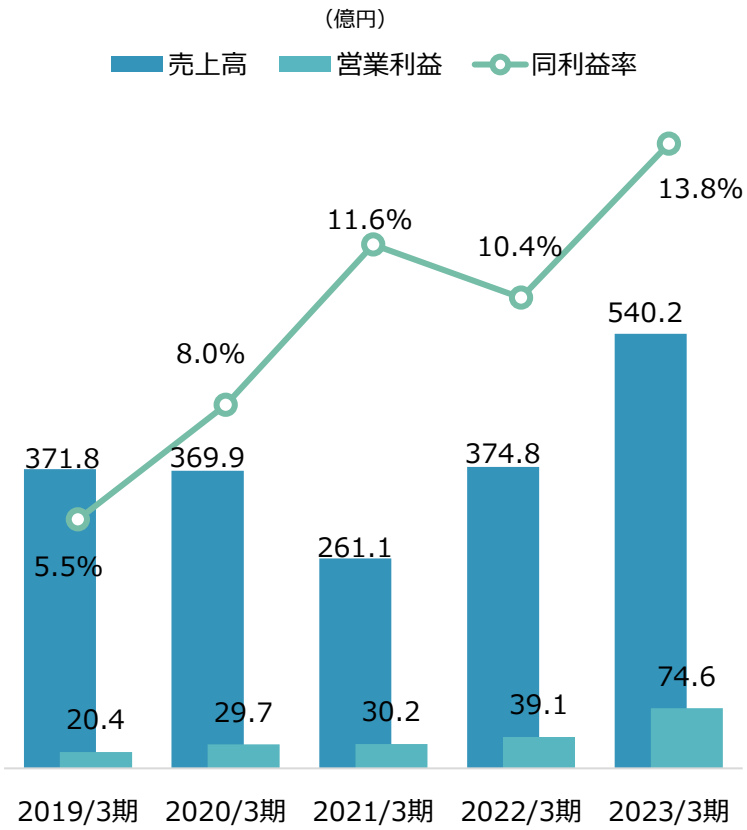
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算概要　②鉄鋼事業（タイ国）

- **タイ国内の需要は大型公共投資を中心にコロナ禍からの回復の兆しはあるものの、力強さを欠く**
- **輸出市場ではASEAN域内の建築活動が回復傾向にあり、一定の販売数量を確保**
- **販売価格の押し上げにより、鋼材マージンは前年2Qを境に、高水準を維持**

業績推移-2Q(累計)



収益増減要因

- 事業環境
  - ✓ スクラップ価格の下落に伴い、鋼材市況の先安を見越した一部顧客は買い控えの姿勢。
  - ✓ ASEAN市場への中国・韓国製品の流入は2Qまでは比較的低水準。
- SYSの動向
  - ✓ 販売数量は前年並みの45万トン。(国内減・輸出増)
  - ✓ 国内及び輸出市場で、販売価格の押し上げが進み鋼材マージンは前年同期比で改善。

（万トン、千B/トン）	2022/3期				2023/3期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
販売数量(半製品含む)	24.1	21.0	20.9	21.4	23.5	21.5	-	-
鋼材マージン	11.1	12.3	17.2	16.9	15.9	16.3	-	-

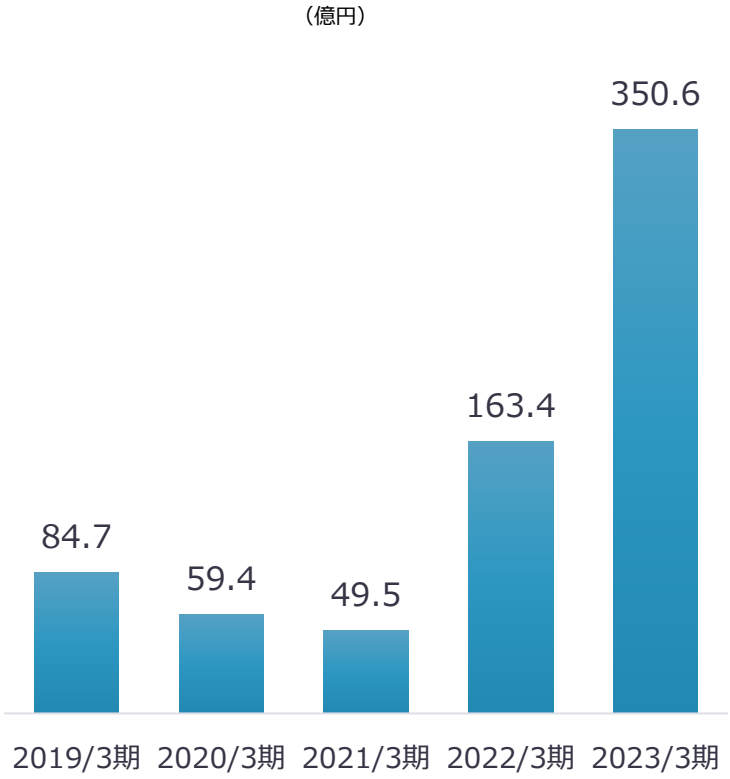
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

持分法適用会社の状況

- **米国が堅調な需要を背景に連結業績を牽引し、持分法利益は前年同期比2.1倍。**
- **地域別の米国以外では、中東は製品販売数量増及び販売価格上昇により、前年同期比で大幅増益と貢献。アジアでは韓国は鉄筋需要が堅調に推移し、好調を持続したものの、ベトナムは経済回復ペースの鈍化により鋼材需要が低迷し、前年同期比で減益。**

持分法投資損益の推移-2Q (累計)



損益増減要因

- 米国
  - ✓ インフレ影響等により鋼板等の市場は軟化傾向にあるものの、形鋼市場の非住宅建設需要は堅調に推移し、需給は引き締まった状態が継続。
  - ✓ 販売価格の値上げが顧客に受け入れられ鋼材マージンは拡大。業績は前年同期比で大幅増益。
- 中東
  - ✓ スクラップ市況上昇時に、鋼材市況の先高を見越した顧客からの引き合いが増加
  - ✓ 主原料の鉄鉱石価格の上昇幅は鉄スクラップ価格に比べ小幅に推移。
  - ✓ 鉄鋼製品・中間材の販売価格は高値で推移し、鋼材マージンの改善により、前年同期比で大幅増益。
- アジア
  - ✓ ベトナムでは中国経済減速の影響により、国内景況感が悪化し、鋼材需要も低調。鋼材マージン改善はしたものの前年同期比で減益。
  - ✓ 韓国では住宅供給拡大政策が後押しとなり、鉄筋需要が比較的堅調に推移。販売価格の押上げにより鋼材マージンも拡大し、前年同期比で増益。

＊韓国YKS：2020年9月に子会社から持分法適用会社(49%)に変更
2021年8月に持分比率が49%から30%に変更

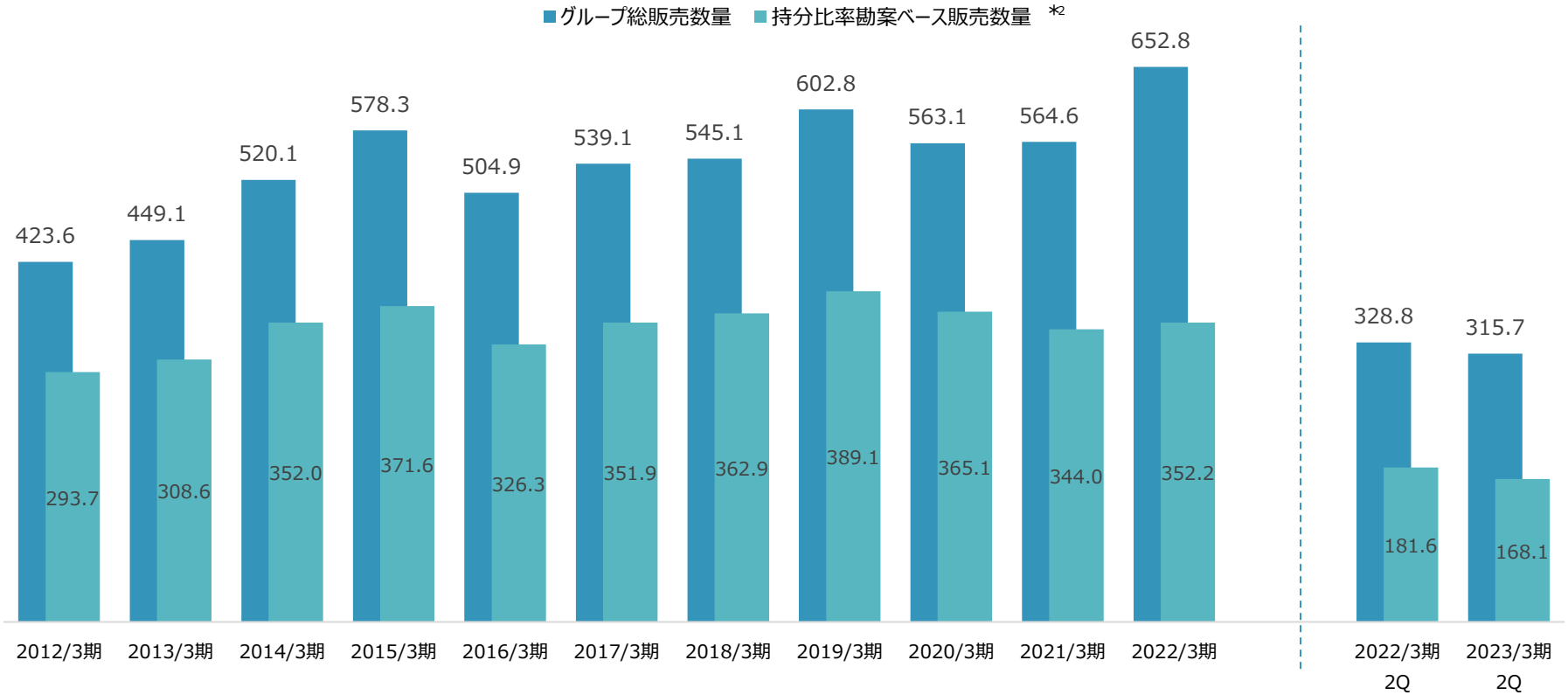
Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

グループ総販売数量の推移

- **2Q累計のグループ総販売数量は世界的な景気先行き警戒感が影響し、前年同期比4.0%減の315.7万トン。**
- **持分比率勘案ベースでは、韓国YKSの持分法比率低下の影響により7.4%減の168.1万トン**

グループ総販売数量*1の推移（万MT）

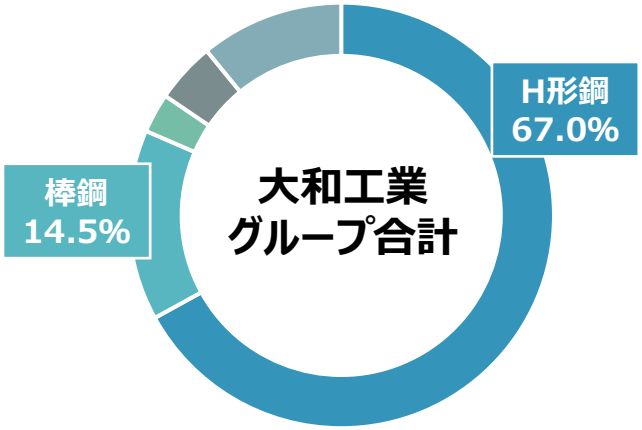


*1 半製品、DRI及びグループ間取引を含む

*2 各社の販売量に当社の持分比率を乗じたもの

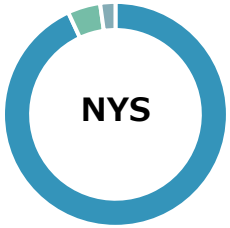
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

製品構成　2Q累計実績

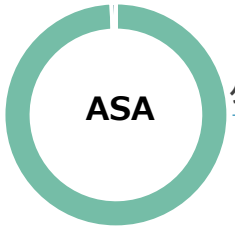


H形鋼	棒鋼	鋼矢板	山形鋼	その他
67.0%	14.5%	3.0%	4.6%	10.9%

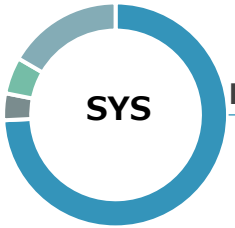
H形鋼　88.6%



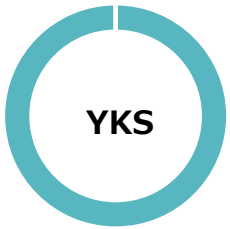
H形鋼　93.1%



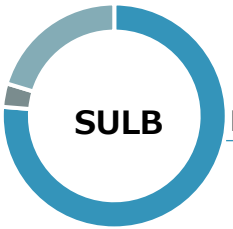
タイプレート　99.4%



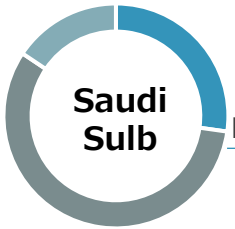
H形鋼　74.2%



棒鋼　100%



H形鋼　76.3%



H形鋼　27.2%

H形鋼　95.6%

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

B/Sの状況

- **有利子負債ゼロに変化なし。自己資本比率85.2%**
- **堅調な業績及び円安を主因として、総資産・負債純資産は増加**

（億円）	2021/3期	2022/3期	2023/3期 2Q	前期比増減
流動資産	1,500	1,677	2,376	699
現預金	1,015	997	1,553	556
売掛債権	176	251	296	44
棚卸資産	280	398	465	67
固定資産	2,097	2,472	2,697	225
有形固定資産	621	597	636	38
投資その他の資産	1,461	1,858	2,042	184
投資有価証券	456	562	711	149
長期預金	212	236	139	▲97
総資産	3,597	4,149	5,074	924
負債	339	392	455	63
買入債務	75	110	110	0
繰延税金負債	120	138	161	23
純資産	3,257	3,756	4,618	861
為替換算調整勘定	▲22	186	689	502
非支配株主持分	237	253	297	44
負債純資産合計	3,597	4,149	5,074	924

設備能力の戦略的増強やM&A案件への機動的対応に向けての余力を確保

鋼材及び原材料市況の上昇、需要の回復を受け、売掛債権/棚卸資産が増加

金融資産*は1,837億円と前期末比482億円増加(為替の影響+228億円)

自己資本比率は85.2%(為替換算調整勘定+502億円の影響含む)

堅調な業績及び円安を主因として増加

*金融資産＝現預金+有価証券+投資有価証券（除く：非連結子会社及び関連会社向け）+長期預金

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

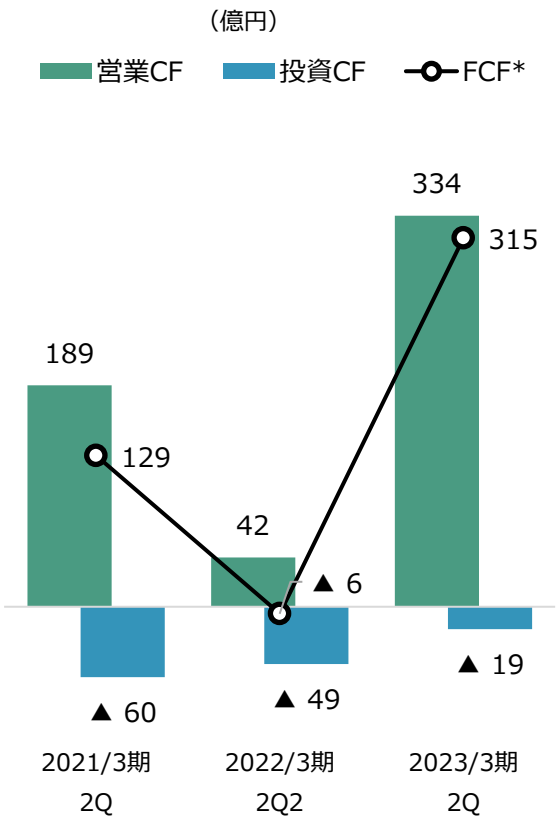
キャッシュフローの状況

- **FCFは米国の持分法関連会社からの現金分配等により、前年同期比+321億円の315億円**
- **財務CFは株主還元等で▲77億円(前年同期並み)**

(億円)	2021/3期 2Q	2022/3期 2Q	**2023/3期 2Q**	**前年同期比 増減**
営業CF	189	42	**334**	292
投資CF(定期預金増減除く)	▲ 60	▲ 49	**▲ 19**	30
有形固定資産取得	▲ 36	▲ 22	**▲ 14**	7
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却	▲ 0	▲ 22	**－**	22
FCF*	129	▲ 6	**315**	321
財務CF	▲ 55	▲ 77	**▲ 77**	▲ 0
自社株買い	▲ 16	▲ 36	**▲ 0**	36
配当金支払	▲ 33	▲ 26	**▲ 63**	▲ 37

* FCF=営業CF+投資CF(定期預金増減除く) で算出

FCFの推移



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅱ 2023/3期 決算の見通し、配当修正

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

2023/3期決算見通し

- ウクライナ情勢の長期化、中国経済回復の減速及び欧米のインフレによる消費の落ち込み等、世界的な景気不安により、需要低迷・市況軟化が危惧される
- 当社グループ総販売数量は減少傾向であるものの、米国・日本では今年度の需要は底堅く推移
- スクラップ価格が下落基調のなか、各拠点において鋼材マージンの維持・拡大に努める。円安も追い風となり、2期連続で過去最高益を更新する見通し

（億円）	2022/3期	2023/3期		前期比		前回予想比	
		直近予想 (2022/8/1)	**今回予想** (2022/10/31)	増減額	増減率	増減額	増減率
売上高	1,500	1,870	**1,790**	290	19.3%	▲80	▲4.3%
営業利益	132	150	**150**	18	12.9%	0	0.0%
経常利益	576	880	**905**	329	57.0%	25	2.8%
持分法投資損益	403	–	**–**	–	–	–	–
親会社株主帰属当期純利益	399	640	**660**	261	65.3%	20	3.1%
営業利益率	8.9%	8.0%	**8.4%**	▲0.5pp	–	0.4pp	–
経常利益率	38.4%	47.1%	**50.6%**	12.2pp	–	3.5pp	–

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

セグメント別決算見通し

連結子会社

鉄鋼事業（日本）

- 形鋼需要は大型建築案件を中心に堅調に推移する見通し
- スクラップ価格は依然として高値で推移も、期初想定は下回る一方、エネルギー価格は円安影響も含めて更に上昇
- 大型サイズの生産・販売強化および販売価格維持により、鋼材マージンを更に改善させ、前期比では大幅増益予想

鉄鋼事業（タイ国）

- 国内市場は建設資材価格の高止まり等により、大型公共投資の一部先延ばしの動きも出てきている
- 輸出市場は中国・韓国メーカーのASEAN市場への輸出圧力が徐々に強まってきており、競争環境の悪化を懸念
- 鋼材マージンは高水準を維持する見込みも、販売数量の減少により、前期比で減益予想

持分法適用会社

米国

- 半導体やEV関連工場など大型建築案件の需要は底堅く推移しているものの、急激な金融引き締めの影響等により、流通顧客は発注に慎重な動きも見せている
- 鋼板等の市況軟化の影響を受け、形鋼市況もやや軟化の兆しがあるものの、スクラップ市況の低下により鋼材マージンは高水準を維持。業績は前年比で大幅増益の予想

中東

- 油価は高値で推移しており、域内の経済情勢は上向き。建設活動の本格的な回復には至っていないものの、輸出を含めた販売面の強化により、製品販売数量は増加傾向
- スクラップ市況の反転に伴い販売価格も下落基調であるものの、販売数量の確保により、前期比増益予想

ベトナム

- スクラップ価格が下落基調に転じて以降、製品価格の値下がりを期待して発注を控える動きが見られる。建設・鋼材需要も芳しくない状況の中、販売数量減少により、前期比で減益を予想
- 2022年8月に中国からの輸入Ｈ形鋼に対するアンチダンピング関税(22.09%～33.51%)の5年間延長措置が決定

韓国

- 住宅供給政策は変化はないものの、建設資材価格の高騰や金利上昇、更には集中豪雨の影響もあり、販売数量は前回予想より減少見込み
- 大韓製鋼社との連携強化によるプラス効果や鋼材マージン維持を図るも、販売数量減少が響き前期比減益の予想

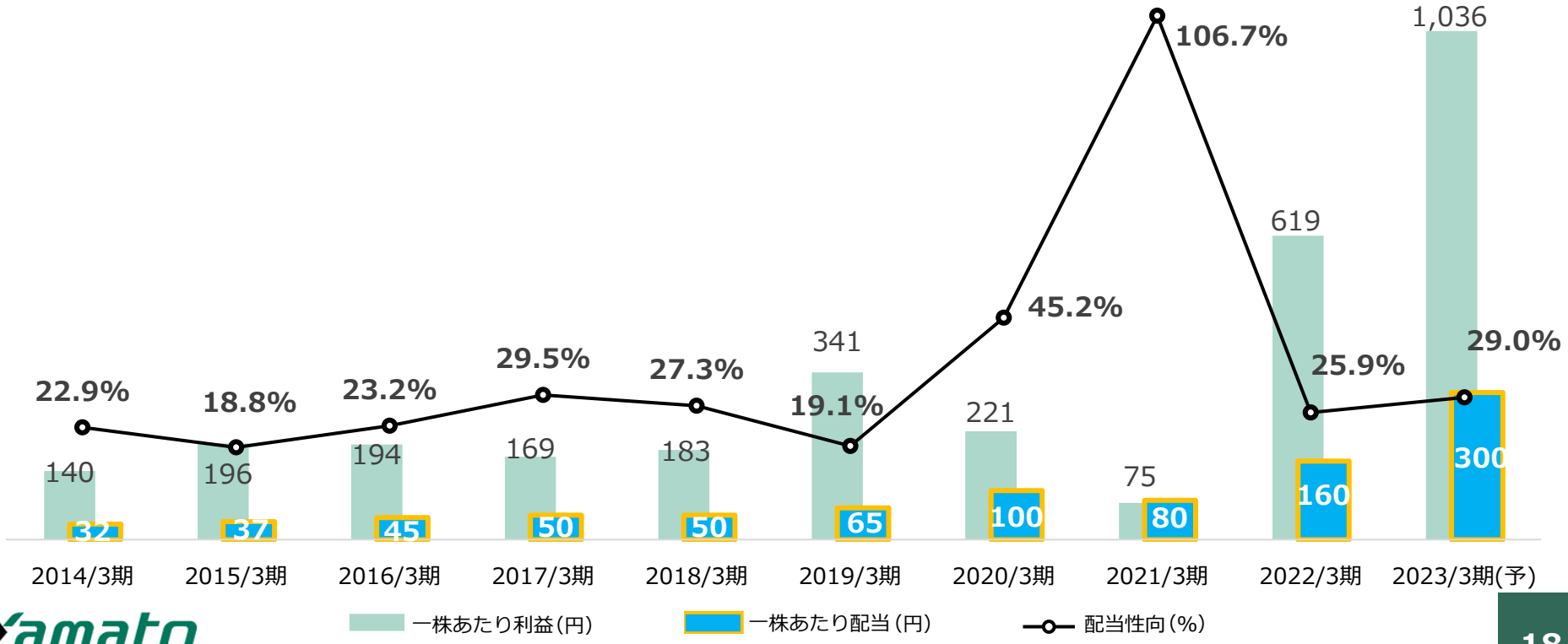
Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

株主還元 ― 株主配当の修正(増配)

2023/3期の年間配当予想額は4月公表の1株あたり200円から300円に増額修正

- **2023/3月期 年間配当予想(1株あたり配当金)** ※()内は前年度実績

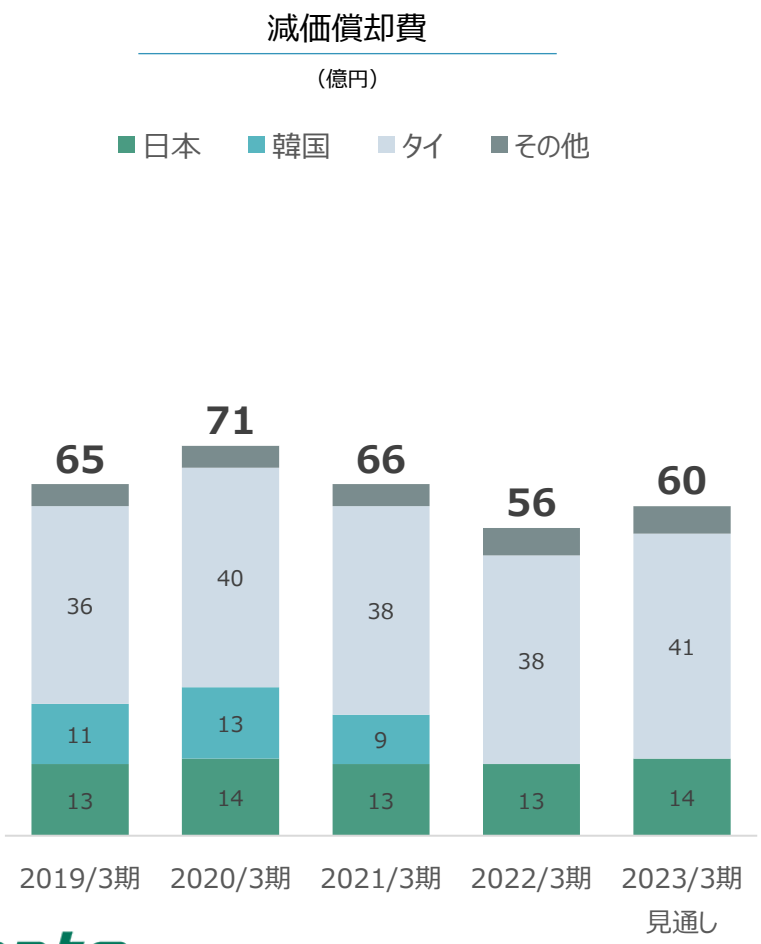
中間配当	150円	(60円)
期末配当(予定)	150円	(100円)
年間配当(予定)	300円	(160円)

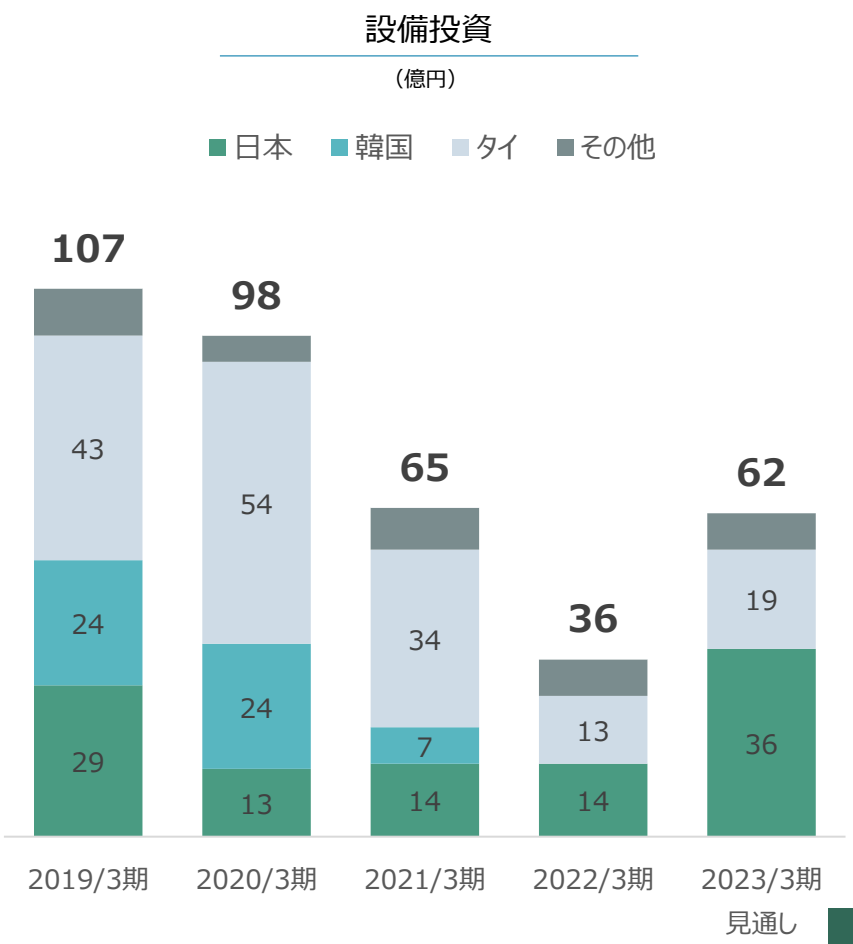


Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

減価償却費及び設備投資の推移(連結子会社)

- **設備投資は全体として増加の見通し。主因は鉄鋼(日本)ヤマトスチールでの矯正機更新等の戦略投資の進捗。鉄鋼(タイ)/SYSは老朽化設備の更新や省人化に向けた設備導入を中心に、設備投資を実施する計画**





Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Ⅲ 事業の中長期展望と投資戦略(2022年5月公表)

～ 今年度中間レビュー ～

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

業績推移

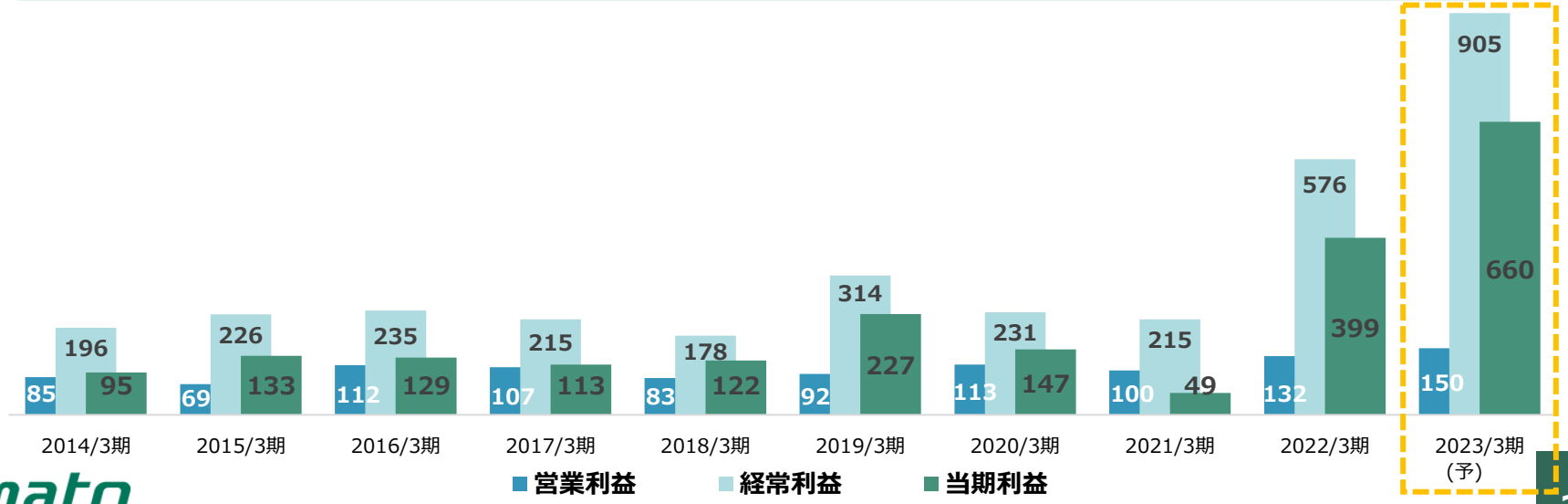
<2023年3月期 通期予想>

売上高1790億円、営業利益150億円、経常利益905億円、当期利益660億円

（経常利益及び当期利益は、2期連続で過去最高益を更新する見通し）

【足元の事業環境認識】

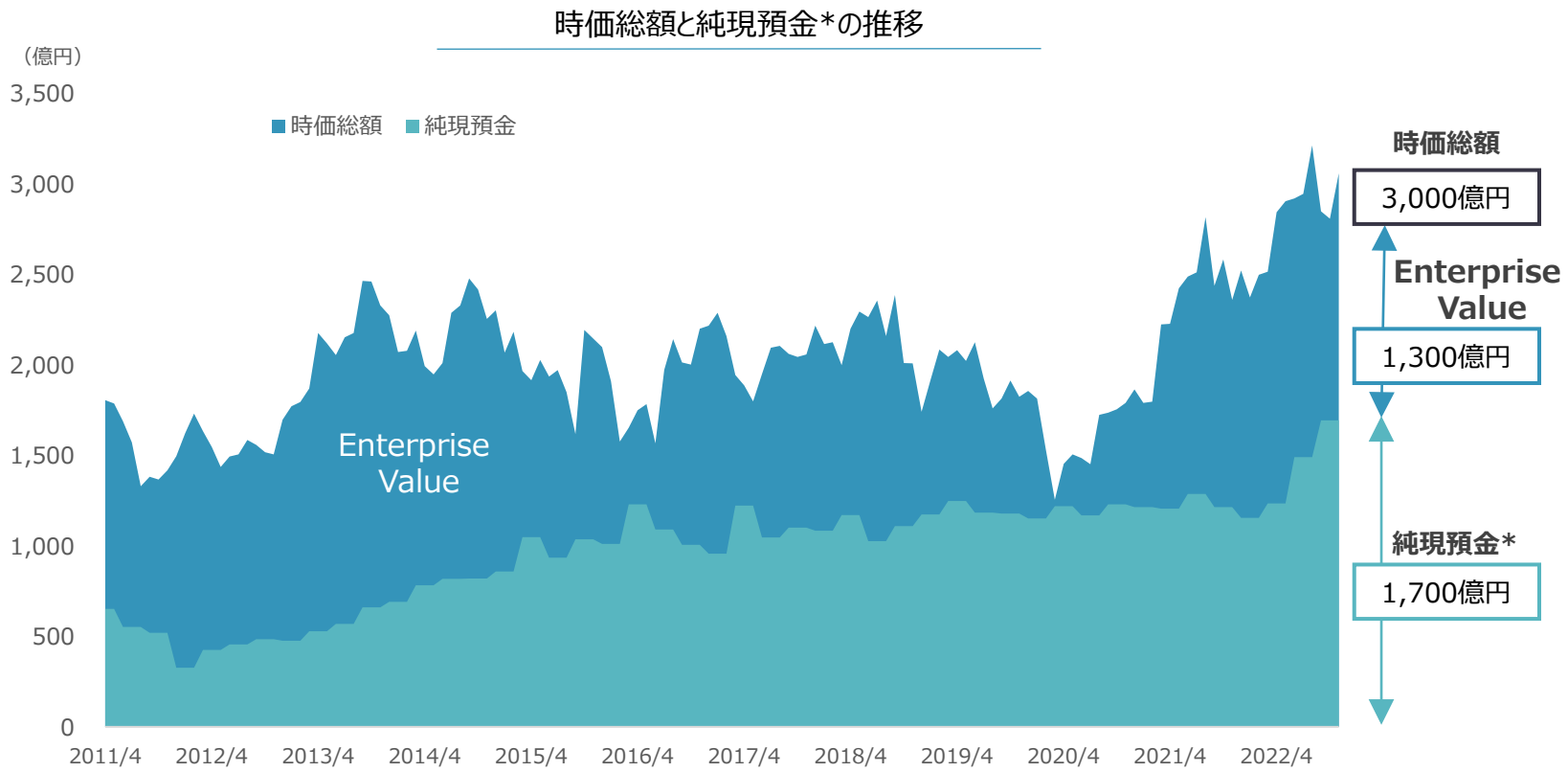
- ✓ ウクライナ情勢、中国の景気停滞、欧米のインフレ等、景況感後退
  → グループ総販売数量は減少傾向
- ✓ 需要が底堅い米国・日本を中心に、鋼材マージンの維持により収益確保
  → 下期は上期(半期の最高益)から減益予想も高水準を維持する見通し
- ✓ 米国は翌期にかけてもインフラ投資等(CHIPS法、インフレ抑制法)による需要の下支えも見込まれ、需給の引き締まりが継続
  → 米国が引続き連結業績を牽引



Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

Enterprise Valueの推移 (市場からの評価)

- 11月17日現在、当社のEnterprise Valueは約1,300億円。
- 2020年3月期以降、着実に利益を積み上げ、時価総額は増加傾向。
- 2022年3月期末比、時価総額は約500億円増加も、純現預金も約500億円増加(円安の影響約230億円含む)。



*純現預金＝現預金＋長期預金－長短借入金

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

経営課題 (2022年3月期 期末決算説明資料より再掲)

- 当社の直面する経営課題は、米国に次ぐ第二の海外拠点の柱の構築
- 更なる成長が期待されるASEANを重点地域と位置付け、連結子会社であるサイアム・ヤマト社を核に、第二の柱を育成。一方、国内ではマザー工場としての設備更新・技術の発信力強化などに注力
- それらを解決することで、恒常的な高ROE水準を志向

		現状	経営課題
事業面	海外	✓ 米国事業が主軸 ✓ 米国、アジア、中東6ヵ国に展開	✓ 米国に次ぐ柱の育成 ✓ 戦略的な設備更新/増設/新技術導入 ✓ 展開地域の更なる拡大 ✓ 鉄事業領域の拡充 ✓ グローバル経営人材の育成
事業面	国内	✓ H形鋼中心の堅実経営 ✓ 技術のマザー工場 ✓ 設備老朽化	✓ 戦略的な設備更新・新技術導入 ✓ 付加価値製品拡充による成長
財務面		✓ 潤沢な手元流動性	✓ 恒常的な高ROE水準を志向

Yamato 大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

グランドデザイン（事業の中長期展望）

基本方針

1. グローバル販売数量の拡大
   - グローバル操業地域の拡大
   - 現地市場の深堀
   - 鉄事業領域の拡充
2. 最先端技術の導入による高収益化
3. 高度経営人材の育成

盤石な財務基盤を有効活用

アクションプラン

- ASEAN形鋼300万トン体制構築計画
  - ✓ 既存拠点の増強
    - タイ　既存圧延ラインの更新（ASEAN展開のマザー工場）
    - ベトナム　中小型圧延ライン増設
  - ✓ M&Aを通じて新規拠点を獲得
- マザー工場であるヤマトスチールの競争力強化及び技術の発信力強化
- グローバル拠点間の人材交流を積極化
- グループ間での人事交流増加

注視するKPI

■ グループ総販売量*
- 2022/3期実績　652万トン
- 2023/3期予想　約600万トン

■ 海外比率（経常利益基準）
- 2022/3期実績　92.5%
- 2023/3期予想　約85.0%

■ 営業利益率
- 2022/3期実績　8.9%
- 2023/3期予想　約8.4%

■ ROE
- 2022/3期実績　12.2%
- 2023/3期予想　約16.0%

* 半製品、DRI及びグループ間取引を含む

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

キャッシュ配分方針

営業CF
(直近３年平均
約**220**億円/年)

投資による営業CF拡大
⇒再投資へ

手元保有キャッシュ＊
約**1,700**億円
(うちドル預金約10億ドル
2022年6月末換算レート)

外部調達

株主還元
配当性向**30%**目処 ＋ 自己株式取得

- 毎年の営業CF未使用分を適切に配分
- 安定的な配当と機動的な自己株式取得

5年間総投資 1,100～1,200億円

◆維持更新等 **200**億円

- 安定収益源として既存設備を維持更新

◆**成長投資** **900～1,000億円**

- 既存設備の戦略的能力増強

国内 **300**億円 海外 **300**億円

ヤマトスチール
既存圧延ライン更新等

Siam Yamato Steel
既存圧延ライン更新

PY VINA
中小型圧延ライン増設

YK Steel
工場移転

投資案件次第
優先順位変更

- M&A/新規事業投資

200～300億円

- ターゲット地域：ASEAN
- 新たな事業拠点・事業領域への投資

- 環境対策・DX投資 **100**億円
  - 生産効率化・省エネルギー化・省人化
  - 低環境負荷設備
  - 電力消費削減以外の環境対策
  - DX投資

- 手元運転資金・緊急対応資金
  - 外部資金調達を含めて随時検討

＊手元保有キャッシュ：現預金＋長期預金（直近決算数値に更新）

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.

ご留意事項等

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
- また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

Yamato
大和工業グループ

Copyright (C) YAMATO KOGYO Co., Ltd. All Rights Reserved.